

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公開番号】特開 2004-180311 (P2004-180311A)

【公開日】平成 16 年 6 月 24 日 (2004.6.24)

【年通号数】公開・登録公報 2004-024

【出願番号】特願 2003-394501 (P2003-394501)

【国際特許分類】

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

H 0 4 Q 7/22 (2006.01)

H 0 4 Q 7/34 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/56 1 0 0 D

H 0 4 L 12/28 3 1 0

H 0 4 B 7/26 1 0 7

H 0 4 B 7/26 1 0 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 22 日 (2006.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の接続ポイントを有する無線ネットワークにおいて、端末装置をルータへ接続する方法であって、

前記端末装置が、第 1 のネットワークインターフェースを用いて第 1 の接続ポイントとリンク層接続を確立する第 1 確立過程と、

前記端末装置が、前記第 1 の接続ポイントを介して第 1 のルータとデータの送受信を行っている間、第 2 のネットワークインターフェースを用いて第 2 の接続ポイントを検出する検出過程と、

前記端末装置が、前記第 2 のネットワークインターフェースを用いて、該検出した第 2 の接続ポイントとリンク層接続を確立する第 2 確立過程と、

前記端末装置が、前記第 2 の接続ポイントに接続された第 2 のルータと前記端末装置との間の通信についての適合性を判定する判定過程と

を有することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記端末装置が、前記判定過程において所定の条件を満たした場合に、前記第 2 のネットワークインターフェースを用いて前記第 2 のルータとデータの送受信を行うとともに、前記第 1 のネットワークインターフェースを用いて第 3 の接続ポイントの検出を行う再検出過程を更に有する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記端末装置は、前記第 1 のルータとの通信に係る通信リンクの品質が低下した場合に、前記検出過程、前記第 2 確立過程、前記判定過程および前記再検出過程を実行する

ことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

複数の接続ポイントを有する無線ネットワークにおいてルータへ接続するための端末装置であって、

第 1 の接続ポイントとリンク層接続を確立する第 1 の送受信部と、

前記第 1 の接続ポイントを介して第 1 のルータとデータの送受信を行っている間、第 2 の接続ポイントを検出し、該検出した第 2 の接続ポイントとリンク層接続を確立する第 2 の送受信部と、

通信条件を記憶したデータベースと、

前記データベースを参照し、前記第 2 の接続ポイントに接続された第 2 のルータと前記端末装置との間の通信についての適合性を判定する制御部と、

を有する端末装置。